

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

能登半島地震の教訓まなび 災害に強い松江市へ 島根原発再稼働やめよう

松江市議会が臨時会を開催 被災地支援・低所得者世帯支援決まる

2月5日松江市議会臨時会が開催され能登半島地震の被災地支援などに1807万円、

物価高騰対策で住民税非課税世帯などの支援に5億3404万円の補正予算を審査し全会一致で可決されました。



本会議場で意見を述べる たちばな市議

珠洲市などの被災地を支援

被災地支援は①被災地への見舞金1千万円、②被災地への職員派遣の経費などに807万円。松江市は被災した石川県珠洲市と昭和64年から姉妹都市でもあります（旧美保町）。1月4日から応援派遣をスタートしており、合計31人の派遣を予定しています。支援内容は、罹災証明書発行

業務、保健師による健康相談、住家の被害認定調査業務等です。本予算は令和6年3月までのものですが、4月以降も継続的な被災地支援を予定しているとのこと。

「広報やホームページで知らせる。3月中には給付開始する」と答えました。

本会議では採決前に各会派が討論し、共産党市議団たちばなふみ市議が会派を代表して意見を述べました。

被災地から学び 松江の災害対策再検証を

たちばな市議は、元日からの執行部の震災対応、珠洲市への支援に感謝を述べるとともに、「この支援を通じて、松江市で同じような災害があった場合を考え被災地から学ぶ機会とすることが大切」「これまでの対策、被害想定や備蓄の在り方、避難所、避難計画、家屋の耐震化などを再検討、再検証することが重要」と指摘し、国に対し、被災地支援の拡充を全国の自治体や市議会から声を上げていくこ

とが重要と述べました。
また、珠洲市は原発の建設計画をストップさせた町だとして紹介し、「この地震で珠洲原発の予定地だった高屋地区の海岸線は数メートル隆起した。地割れや隆起が起きれば、原発は持たないとする専門家の声がある。被災地の様子から屋内避難や長距離の自家用車での避難ができないことも明らかで住民の不安の声は広がっている。地震大国である日本で原発をたてる場所はない、島根原発再稼働は許されない」と訴えました。

社会の歩みに 人生を重ねて⑬

一度しかない人生を

衆院島根一
区
補
選
候
補

村穂 江利子

「私たちは一つの人生しか生きられないし、信じたようにしか、それを生きられない」これはジャンヌダルクの残した言葉として伝わっています。皆さんも同じような経験が

「私たちは一つのおおろかと思いが、生きていく過程では、心が打ち砕かれるようなことや、とても自分の力だけでは立ち上がれないと思うようなことも起こります。そんな時、励まされたり、もう一度頑張ってみようと思う力を与えてくれるものの一つは、やはり「言葉」ではないでしょうか。文学作品の一節だったり、好きな歌のフレーズだったり。もちろん、家族や友人知人がかけてくれた言葉もあるでしょう。冒頭に紹介

したような、歴史に名を残した人たちの言葉も含みがあります。偉人の名言は、一冊の本にまとめられてもいますから、時に応じて読み返すことで、心を立て直すことがあります。私にとっては、その一つが冒頭の言葉でした。

輪廻転生はあるかもしれないが、それは当然確かめるべくもなく。今あるこの命を生き切る。不幸にして事故や自然災害で奪われることが否定できないのも私たちの命ですが、与えられたこの人生を、一度しかない人生をどう生きるか。「時間の使い方は、いのちの使い方」。その思いを強くしながらの毎日です。

松江市議会2月定例会 日程のおしらせ

月	日	曜	会議名
2	20	火	本会議
2	26	月	一般質問
2	27	火	一般質問
2	28	水	一般質問
3	1	金	予算委員会
	4	月	総務委員会、予算分科会
	5	火	総務委員会、予算分科会
	6	水	教育民生委員会、予算分科会
	7	木	教育民生委員会、予算分科会
	8	金	経済委員会、予算分科会
	11	月	経済委員会、予算分科会 建設環境委員会(現地視察)
	12	火	建設環境委員会、予算分科会
	13	水	建設環境委員会、予算分科会
	18	月	予算委員会
	22	金	本会議(討論・採決)

